

ぎかいだより



タイトル ● 「天空の棚田の田植え」

撮影者：岩滝小学校 撮影日：令和元年5月22日

第39号

2020年5月1日

発行

題字 ● 東小学校5年(平成31年度当時) たか はた ゆき ね 高 畠 侑 音 さん

Contents

- P2 新年度予算審査
- P5 3月定例会議案審査
- P8 上程議案・賛否一覧
- P9 議員発議
 - 新型コロナウイルス感染症
- 一般質問
- P13 活動報告
- P15 高校生との意見交換会
- P16 お知らせ
 - 表紙写真募集
 - 次回定例会日程ほか

表紙の**写真**を
募集しています!

詳細は裏表紙を
ご覧ください。

第八次総合計画後期初年度

希望ある 輝くまち 飛騨高山

の実現に…

令和2年度予算 総額764億円

多様な働き方と優れた製品、サービスで財を稼ぐ

地域産業の担い手確保と生産性の向上

- 介護人材の確保(介護ロボット導入に対する助成等) 340万円
- スマート農業技術導入に対する助成 600万円

問 令和2年度に導入予定のスマート農業機械にはどういったものがあるか。

答 直進アシスト機能付き田植え機、水稻防除用ドローン、ラジコン操縦の自走式草刈り機といったものを予定している。



水稻防除用ドローン



自走式草刈り機

- 飛騨民俗村再整備構想に基づく整備 7,260万円
- 伝統的工芸品のPRに対する助成 250万円

問 伝統的工芸品のPRに対する助成の内容及び意図するところは。

答 市内にはホテル・旅館、飲食店等様々な事業者が立地しており、まち全体をショールーム的な考え方で捉え、事業者に伝統的工芸品をより多く導入いただき、観光客・市民の目に触れる機会を創出することによって需要の拡大、新商品の開発につなげる。補助率は2分の1、上限は1事業者当たり50万円。



既存産業の強化と
新たな産業の創出

心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する

心身が健康で安心して暮らし
続けられる社会の実現

- 禁煙外来受診費用に対する助成 200万円
- 岐阜大学と連携した産婦人科医療体制の研究 300万円



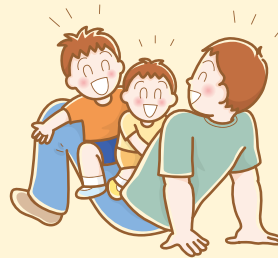
問 産婦人科医を飛騨地域に呼ぶためにも充実した医療機器等の環境整備が必要ではないか。また、どう検討されたか。

答 医療技術は日進月歩であり、医療機器の整備は必要だと認識している。市は地域医療対策として病院が整備する医療機器に対して補助金を支出している。それらを活用し病院で医療機器の整備を進めていただく。

- 町内会等が行う児童遊園地整備に対する助成 300万円
- ひとり親家庭に対する訪問支援 1,000万円

問 ひとり親家庭の支援内容は。

答 就職活動のための技能取得通学や冠婚葬祭等で公的な行事に参加できない場合、就労等で帰宅時間が遅くなる場合など、ひとり親家庭に訪問支援員を派遣し生活の安定を図る。訪問支援は2種類あり、生活援助ではヘルパーの資格がある者、子育て支援では県の子育て支援員研修を修了した者や保育士、看護師が訪問する。



安心して子育てができる
環境の充実

夢と誇りこぼれこぼれと
あふれる人の育み

- ICT機器を活用した教育の推進 4,582万円
- 若者を中心とした活動拠点の設置 520万円



問 小・中学校におけるタブレット端末の配備計画は。

答 令和2年度では、小学校5・6年生、中学校1年生に約2,400台の配備を予定している。その後は国のロードマップをもとに、令和3年度で中学校2・3年生、令和4年度で小学校3・4年生、令和5年度で小学校1・2年生への配備を考えており、合計で約7,000台のタブレット端末を導入する予定としている。

人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する
持続可能なまちをつくる

利便性の高い都市機能と
ネットワークの構築

- まちかどスポット(大雄寺スポット)の整備 1,500万円
- 公共交通の充実 2,260万円

問 新たな総合交通対策事業の内容は。



答 これまで運賃は定額(1回100円)であったが、高校生以下は無料になる。さらに65歳以上の市民は、



年間パスポートを6,000円の負担で購入でき、のらマイカー、まちなみバス、観光特化型バス(匠バス)、たかね号を利用できる。

- 伝統的大工技術継承に対する助成 250万円
- 環境政策顧問の設置 300万円



問 環境政策顧問の設置目的と活用方法は。

答 エネルギー・気候温暖化政策、持続可能な都市計画等に精通している環境コンサルタントの村上敦氏を顧問に予定している。その高度な知見を活用し人材の育成やアドバイスをいただく。

地域特性の
保全、活用、創出

安全への備えと
災害時の対応強化

- 道路沿線立木の伐採によるライフライン
保全対策事業 2,000万円
- 高齢運転者の安全装置設置に
対する助成 200万円

問 高齢運転者の安全装置設置に対する助成の内容及び対象年齢要件を75歳以上とした理由は。

答 国は障害物検知機能なしの場合は2万円、機能ありの場合は4万円を補助。安全装置設置費用から国の補助を差し引いた金額のうち、市が1万円を上限に助成する。国では65歳以上を対象としているが、県内の交通事故発生状況を鑑み対象を75歳以上とした。



3月定例会 議案審査 総務環境委員会

行政改革推進委員会の名称等を見直す条例改正

問 行政改革推進委員会での議論等は。

答 委員会からは、方針の内容や計画の名称変更は適当であるといった答申を受け、これからは長期的に行政を運営していく視点が必要となるといった意見をいただいた。今後は、市が有しているヒト、モノ、カネや地域の繋がりも含めたさまざまな経営資源をより積極的に活用しながら市民サービスの向上を図っていく。



ライフライン保全対策事業の実施に伴う分担金徴収条例の改正



着手前

完了後

問 対象となる道路及び事業の期限は。

答 国道、県道、市道、農道など全ての道路が対象となる。

期限については、県の要綱では平成31年度から3年となっている。市では令和2年度及び3年度の2年で16路線程度を実施する予定であるが、これですべて終わるということではなく、それ以降も検討は進めていく。

非常勤職員の公務災害補償の対象を見直す条例改正

問 対象となる会計年度任用職員は。

答 令和2年度当初のフルタイムの会計年度任用職員が対象となる。会計年度任用職員は901人の予定で、このうちフルタイムは123人であるが、職種によっては労働災害保険の対象となり本条例の対象にはならないため、実際に対象になるのは37人となる。



消防団員の処遇を改善する条例改正

問 特別報酬と出動手当の支給の考え方は。

答 災害対応など一つの活動において8時間以内を目途に出動班の交代を考えているが、8時間を超えるような長時間にわたる活動の場合に特別報酬を支給するという考え方である。支給額は7,000円以内だが、その都度、状況により額を定める。

出動手当については、消防団活動を、①災害に伴う出動、②災害に備えた訓練や警戒活動、③出初式などの消防団としての行事、④日ごろの各種点検といった4つに区分し、それぞれの状況により額を定める。



中継送水訓練の様子

3月定例会 議案審査 福祉文教委員会

国民健康保険料の賦課限度額等の見直しを行う条例改正



問 賦課限度額の見直しにより影響のある世帯数及び影響額は。

答 基礎賦課分については限度額が63万円で271世帯、介護納付金分については限度額が17万円で176世帯となり、合わせて約690万円の増額となる。

奥飛騨栃尾生涯学習館を廃止する条例改正



奥飛騨栃尾生涯学習館

問 条例改正の背景と今後の対応は。

答 老朽化が著しく耐震性が不足しており、利用も少ないため、町内会や利用団体と協議を行い、今後、利用団体には奥飛騨トレーニングセンター体育館を使用していただくことで同意を得ている。

一之宮ゲートボール場 及び 久々野総合運動公園老人運動広場を廃止する条例改正



問 条例改正の背景は。

答 近年利用がない状況であるため、一之宮ゲートボール場においては、長寿会、まちづくり協議会、町内会に、久々野総合運動公園老人運動広場においては、それらの団体に加え指定管理者へも説明を行い同意を得ている。

上宝町・奥飛騨温泉郷の住民が利用する飛騨市火葬場に光明苑を追加する規約変更



光明苑（飛騨市営火葬場）

問 規約変更の内容は。

答 上宝町・奥飛騨温泉郷の住民が松ヶ丘公園斎場(神岡町)と同様に光明苑(古川町)を利用できるよう飛騨市火葬場の使用許可事務を飛騨市から受託するため規約の変更をするもの。これまでは火葬場使用料を利用者が自己負担していたが、今後は市が負担することとなる。

3月定例会 議案審査 産業建設委員会

産業振興の取り組みをより一層推進するための条例改正



問 事業者の役割として、域外資本企業に努力義務を求めているが、今後どのようにアプローチするのか。

答 本条例の趣旨を分かりやすい形で書面にし、市民や事業者の方々と共に共有するとともに、まずは顔と顔を見合わせてご協力をお願いするといった地道な取り組みから進めていく。

特選館あじかを民間による運営とするための条例改正



特選館あじか

問 地権者との交渉の状況は。

答 地権者の市と契約したいという意向を受け、市が借りてあじかファミリー会に貸与する形とした。

問 今後の市のサポートは。

答 情報発信や様々な運営に関する相談に応えながら、国府地域の魅力の一つとしてサポートしていきたい。

市営住宅の連帯保証人の見直し等を行うための条例改正



市営住宅サンハピネス

問 住まいのセーフティネットという観点から、国は連帯保証人を入居の前提から見直すよう通知しているが、県内他市の動向は。

答 公営住宅を設置している県を含む34自治体のうち、3月1日現在で連帯保証人を不要としているのは1自治体のみで、他は連帯保証人を継続することとしている。

下水道事業に地方公営企業法を適用するための条例改正



クリンピア高山（下水処理場）

問 企業会計化に伴い受益者負担の原則に基づいた運営となるが、老朽化に伴う施設更新などを計画的に行う財政運営が可能か。

答 現時点でも数億円の財源不足が生じており、一般会計からの繰り入れで補填している。今後は更なる経費削減に努めるとともに、経営状況を見える化する中で、使用料の改定等にもご理解いただけるよう努めていく。

3月定例会 上程議案一覧表

3月定例会に上程された議案及び議決結果は次のとおりです。

市長提出議案

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議第1号	高山市監査委員条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第2号	高山市行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第3号	高山市印鑑条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第4号	高山市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第5号	高山市手数料条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第6号	高山市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第7号	高山市家畜診療所設置条例について	産業建設	原案可決
議第8号	高山市分担金徴収条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第9号	高山市産業振興基本条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第10号	高山市公設地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第11号	高山市観光施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第12号	高山市営住宅条例等の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第13号	高山都市計画事業高山駅周辺土地区画整理事業施行条例を廃止する条例について	産業建設	原案可決
議第14号	高山市公民館設置条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第15号	高山市体育施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第16号	高山市消防団条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第17号	高山市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例について	産業建設	原案可決
議第18号	高山市第八次総合計画基本計画の変更について	総合計画に関する特別	原案可決
議第19号	損害賠償の額の決定について（奥飛騨温泉郷平湯）	産業建設	原案可決
議第20号	損害賠償の額の決定について（千鳥町）	産業建設	原案可決
議第21号	松ヶ丘公園斎場の使用に係る事務の委託に関する規約の変更について	福祉文教	原案可決
議第22号	平成31年度高山市一般会計補正予算（第4号）	予算決算特別	原案可決
議第23号	平成31年度高山市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	予算決算特別	原案可決
議第24号	平成31年度高山市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	予算決算特別	原案可決
議第25号	平成31年度高山市水道事業会計補正予算（第2号）	予算決算特別	原案可決
議第26号	令和2年度高山市一般会計予算	予算決算特別	原案可決
議第27号	令和2年度高山市国民健康保険事業特別会計予算	予算決算特別	原案可決
議第28号	令和2年度高山市地方卸売市場事業特別会計予算	予算決算特別	原案可決
議第29号	令和2年度高山市学校給食費特別会計予算	予算決算特別	原案可決
議第30号	令和2年度高山市介護保険事業特別会計予算	予算決算特別	原案可決
議第31号	令和2年度高山市観光施設事業特別会計予算	予算決算特別	原案可決
議第32号	令和2年度高山市後期高齢者医療事業特別会計予算	予算決算特別	原案可決
議第33号	令和2年度高山市水道事業会計予算	予算決算特別	原案可決
議第34号	令和2年度高山市下水道事業会計予算	予算決算特別	原案可決
議第35号	公平委員会委員の選任について	初日	原案同意
議第36号	平成31年度高山市一般会計補正予算（第5号）	予算決算特別	原案可決

議員提出議案

議案番号	件名	上程日	議決結果
発議第1号	新型コロナウイルス感染症に関わる対策についての決議	最終日	原案可決

3月定例会の議案賛否一覧

3月定例会の提出議案における各議員の賛否は次のとおりです。
その他の議案においては、いずれも全員一致で可決・同意しました。

	石原	笠原	西本	松林	中谷	伊東	谷村	西田	沼津	榎	山腰	渡辺	岩垣	中箴	倉田	松山	上嶋	車戸	水門	橋本	中田	小井戸	谷澤	牛丸	
	正裕	等	泰輝	彰	省悟	寿充	昭次	稔	光夫	隆司	恵一	甚一	和彦	博之	博之	篤夫	希代子	明良	義昭	正彦	清介	真人	政司	尋幸	
議第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●

※「○」は賛成、「●」は反対。橋本議長は採決に加わりません。

議員発議

新型コロナウイルス感染症に関わる対策についての決議

3月定例会最終日(3月19日)、市議会は、「新型コロナウイルス感染症に関わる対策についての決議」を採択し、新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、感染症から市民の生命や健康を守るとともに、観光に依存する高山市においても、入り込み客数の激減により市内経済は著しく低迷し、その回復の見込みが立っていない状況下において、議会の意見を表明し、その対応を市に求めました。

内容は下記のとおりです。



- 1 新型コロナウイルス感染症から市民の生命と健康を守るため、国、県、他自治体、事業者、医療機関と連携するなかで、万全の対応に全力を尽くすこと。
- 2 被雇用者の生活危機及び事業者の経営危機に対応するため、国の緊急つなぎ融資などと併せ、地元金融機関と連携するなかで、あらゆる資源を投入し、きめ細かな対策を講じること。

※決議は、議会の意思を対外的に表明することが必要である場合に行うものです。

3月定例会

一般質問

3月定例会では15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

■今号から、QRコードから各議員の一般質問をご覧いただけます。配信は会議録が調製され次第終了します。(タブレット・スマートフォンにも対応。通信料は別途発生します。)

施策・事業の執行の
住民との合意形成

創政・改革クラブ
谷村昭次



問 施策や事業の執行では市民の積極的な賛成はなくても、積極的に反対する人がいない状況に至ることが必要である。反対者を少なくする努力体制や姿勢があるのか。そして、反対理由を細やかに検証し内容を公開する仕組みと市民の理解と協力は行政の決定よりも優先されるべきものではないか。

答 住民合意では対話などを丁寧に積み重ねた結果として全ての方に賛成してもらえることが望ましく、わかりやすい話し合いのもとで反対者がいなくなる、あるいは反対する方が少なくなるように努めることが必要と考えている。



六厩産廃処分場計画について政治決断すべき!

創政・改革クラブ
岩垣和彦



問 荘川町六厩地内の産廃処分場建設計画が再提出された。國島市長はこれまでも「許認可権は県にあり、手続きの段階で地域住民の反対意見を伝える」と答弁されている。だが手続き段階で意見を述べても審査は着々と進む。2月に地元住民から市長へ「設置許可をしないよう働きかけて欲しい」との要望が再提出された。市長の政治決断は。

答 反対への思いは十分受け止めている。貴重な自然環境を鑑み最終処分場建設地として適地ではない。県に対し要望はしっかり伝えていく。



国内客回帰に向けたソフトインフラの整備とエリアマネジメント

創政・改革クラブ
中田清介



問 高山市は旅行者を意識した観光資源周辺の景観整備等、集客力と旅行者の満足度を向上させるソフトインフラをより充実させるべき。まちの厚みをつけ、住みたくなるような街で移動がしやすく、清潔で立ち寄りたくなる店がある、そうしたまちの形成である。市内への流入交通の抑制も含め、エリアマネジメントに留意して、市民にもっとアピールしていく必要がある。

答 市の取り組みは市民の生活環境の向上につながるものであり流入交通の抑制も含め市街地の課題解決に取り組んでいく。



森林・山村多面的機能発揮対策事業の取り組みについて

清和クラブ
松林 彰



問 地域住民や森林所有者等が協力して行う、里山林の保全や森林資源の活用を図る活動に対し、交付金が支給される事業を活用し、里山林を保全することは有害鳥獣との緩衝地帯を整備することになり、有効な対策になる。市独自に補助する対策を検討するべきではないか。

答 里山林保全活動については、主に地域住民が自主的に地域の里山林において整備活動を実施されるもので、地域環境整備やコミュニティ維持にも繋がる活動であり、今後も支援を進めながら市内各地域で実施団体が増えるよう情報提供にも努めていく。



人と人を結び地域や食の魅力を引き出そう!

清和クラブ
松山篤夫



問 地域で生まれた食文化は、その場所ならではの魅力となる。山の恵みや伝統野菜といった食材に加え、その土地ならではの発酵食、厳しい冬を乗り切るための乾燥食、保存食も風土が生み出した英知の結晶である。地域の食文化を一流にプロデュースするには外部の人を入れることも重要となる。食文化を生かした地域活性化に対する市の考えは。

答 市には地域の気候や風土に培われた地元野菜が多くあり、地域に根付いた食文化の高付加価値化や生産拡大を図るとともに、食文化の情報発信や販路拡大に取り組んでいく。



あきしまささげ

中部縦貫自動車道・丹生川～平湯間の整備

清和クラブ
車戸明良



問 国・県・高山市・飛騨市の飛騨北部地域幹線道路検討委員会で優先整備区間として平湯～日面が決定したが、その経緯は。丹生川IC～平湯IC間のインターチェンジは、久手と日面の2箇所に設置すると捉えていいのか。

答 丹生川～平湯間は平湯峠に最も課題が多いとして、国道158号に並行するルートで平湯～日面間とした。ICは日面には、観光施設があり白井地区には一時避難所がある。久手周辺はスキー場や乗鞍岳があり、箕鉾地区に一時避難所があることなどにより、インターチェンジは2箇所に設置することで合意した。



中部縦貫自動車道高山清見道路
出典：中部地方整備局ホームページから

積極的なIT企業誘致や起業家育成の促進を

高山市議会公明党
山腰恵一



問 お試しサテライトオフィスを拠点とした積極的な企業誘致の展開が必要である。また、若者の働く職種が限られ少ないという声がある。第4次産業革命の真ただ中で、若者が仕事をしたいと思うIT関連企業の誘致や企業と連携したIT起業家育成が重要と考えるが。

答 都市部の企業に熱意を伝え信頼関係を構築し積極的に誘致活動に取り組む。また、新たな技術の加速化が進展している中、先進技術を活用したIT企業誘致は重点的に取り組む課題である。IT企業誘致とともに連携した起業セミナーによりIT起業家育成に尽力する。



飛騨高山お試しサテライトオフィス

部活動のあり方

高山市議会公明党
中箴博之



問 中学校の部活動は、部費や遠征費、ユニフォームやシューズといった高価な道具などの経済的負担に加え、練習の送迎やお茶当番など保護者の負担も大きいと聞かすが、こうした実態の把握と市教委としての指導性は。また、保護者会のあり方についての見解は。

答 校長会が「部活動運営指導の基本事項」を定めており、保護者負担の軽減についても指導しているが、保護者の中で部活動に対する考え方も様々あり、目的や運営の方針・方法などについて共通理解をもって進められるよう学校とともに取り組みたい。



理系Uターン活躍の場、技術系産業の育成を！

斐翔・自民クラブ
伊東寿充



問 人口減少、超高齢社会等、地域の諸課題解決には先端技術の活用は不可欠といえる。これを総合行政の視点から捉えていくと共に、理系のUターン者の活躍の場が限られている事も鑑み、技術系(IT含め)産業や人材の計画的育成が必要ではないか。

答 本市は都市部と比較し雇用の受け皿となる職種の選択肢が少ない。次期高山市産業振興計画においては、情報通信産業や企画デザイン分野等のサテライトオフィスへの誘致活動の強化で企業や人材の確保に努めたい。合わせてそういった企業、人材育成にも積極的に取り組んでいく。



新火葬場は全市民が利用できるものに

無党派
谷澤 政司



問 平成の市町村合併により、広大な市域となったことから、上宝町、荘川町、久々野町、朝日町、高根町など支所地域からの距離や住民の居住状況を考慮し、高山地域に新火葬場を建設することに取り組む考えはないか。

答 提案された意見や様々な意見を参考に候補地をどうすべきか検討を進める。



市公式スマートフォンアプリの導入について

高山市政クラブ
石原 正裕



問 市ホームページは情報量が多く、知りたい情報を得るのに時間がかかる。市公式スマホアプリを導入することで知りたい情報を端的に得られることや、災害時の避難の際、道路や河川の情報カメラと関連することで、現状を把握し安全に避難ができると考えるが。

答 市ホームページについては、情報量が多くなってきており、市民の皆様が欲しい情報にたどり着くのに時間を要することは認識している。市民が望む情報や緊急情報を取得し易く、利便性の良いアプリ導入の検討を進めていく。



森林空間を活用した森林サービス産業の創出

高山市政クラブ
西本 泰輝



問 健康、観光、教育などの多様な分野が森林空間とつながる森林サービス産業について、行政の多様な分野が連携し取り組む体制を早期に整備すべきではないか。また、その創出・推進のため、産学官連携や協働のまちづくりによる検討委員会などを設置してはどうか。

答 各部署が行っている、あるいは今後予定している施策について、森林サービス産業の展開につながる施策を精査し連携を図っていく。また、有識者や森林空間を活用している事業者、市民団体などと情報共有を図りながら、森林サービス産業創出へ向けた研究を進める。



美しい風景の江名子川を守ろう!

高山市政クラブ
西田 稔



問 県の計画により江名子川において概ね10年に1回発生する恐れのある洪水対策として宮川合流点付近の河床掘削、愛宕橋下流付近の河床掘削と河道拡幅が実施されているが今後の事業予定は。また上流部では調節池の建設が計画されているが今後のスケジュールは。

答 県では荏名神社付近の整備に河床掘削と護岸嵩上げを計画している。来年度から地元調整や関係者協議を進める。調節池は昨年度までに測量と地質調査が完了し今年度は予備設計が行われ、来年度以降は予備設計及び詳細設計、追加調査と地元調整を図っていく予定である。



移動図書館の実施について

日本共産党高山市議団
上 嶋 希代子



問 以前に実施されていた移動図書館が廃止となり現在は行われていない。体の不自由な方や高齢で車が使えない方から移動図書館の要望がある。他市でも実施していると聞いている。再開できないか。

答 移動図書館は、利用者が減少する中で「煥章館」のオープンにあたり廃止した。来館困難者には、宅配サービスを実施している。高根町では、高齢者施設で書籍貸し出しができる「お出かけ図書館」サービスを試験的に始めている。こうしたことから移動図書館の実施は考えていない。



市民との情報共有こそまちづくりの基本では

日本共産党高山市議団
牛丸 尋幸



問 市の誰にもやさしいまちづくり条例に基づく「推進指針」には「受け手が求めている情報が、容易にかつ正確に入手できるよう、『やさしさ』のある情報の伝達に取り組みます」とある。市の各施策・計画に当たり、関係住民が求めている情報が入手できるよう対応すべきではないか。

答 様々な取り組みに対してその課題解決に当たり、情報を入手すべき方々と十分に情報を共有する中で、課題解決策を見つけていく。そしてその方法について、十分に理解し共有し効果的になるように、情報を提供していくというスタンスで取り組んでいく。



議会閉会中の委員会活動

総務環境委員会

協議事項 ● 新ごみ処理施設の建設について

令和2年 2月17日

新ごみ処理施設建設の候補地は現施設の東隣に

新ごみ処理施設建設の協議において、市が行った環境影響調査に対し、その調査項目の信憑性について、1月20日の総務環境委員会に参考人として、専門家である公益社団法人全国都市清掃会議 技術部長 濱田雅巳氏にお越しいただき、ご意見をいただいた。また、1月22日には、地元4町内会長と地元町連会長に現状の地域のご意見を確認させていただいた。

その結果、建設を進めるにあたり、市に対し次の付帯意見を申し添えた。

- 地元住民の皆様からは、有害物質の濃度など、人体への影響が危惧されていて、規制基準なども含めて信憑性や疑問が払拭されていない。施設の建設に当たっては、健康への不安等、地元住民の心情等を鑑み、そうした不安を払拭できるよう、できる限り環境基準に配慮し、その対策を講じられたい。
- 迷惑施設を受け入れる為に、苦渋の選択として決断された住民の声や意見に対して真摯に対応することが重要であったが、信頼関係を築くような対応ではなかった。長年にわたり、ごみ処理施設を受け入れていただいていることに対する地元住民のご理解とご協力に改めて感謝と敬意を表し、周辺町内会の要望に対しては十二分な対応を図るとともに、さらなる地域の環境整備と併せて周辺地域の発展に鋭意努力されたい。
- ごみの処理は、施設周辺の住民のご理解とご協力があってなりたっているという基本的背景について、改めて広く全市民に啓発するとともに、ごみの資源化やごみの減量化に向けた取り組みを今まで以上に推進されたい。

議会閉会中の委員会活動

福祉文教委員会

協議事項 ● 高山市子どもにやさしいまちづくり計画について

令和2年 2月18日

本市における子ども・子育て支援に関する施策等を総合的に推進するための計画で、市教育大綱の基本方針、市地域福祉計画の基本理念を踏まえ、今回、子どもの貧困対策の推進に関する法律の制定を受け、同法に基づく計画としても位置づけ、計画期間終了により新たな計画を策定するもの。

●基本理念 「子どもがやさしさにつつまれ、健やかに育つまち」

長岡市行政視察 子育ての駅千秋「てくてく」
保育士も常駐する子育て&交流施設

●基本目標

①安心して子どもを生み、育てることができるまちづくり

- ・安心して出産ができる環境の充実
- ・専門的な相談支援・体制の構築
- ・子育ての孤立化を解消 など

②子どもが豊かに学び、健やかに育つまちづくり

- ・成長段階に応じた遊び場、居場所の充実
- ・学校、家庭、地域が協働して、子どもの豊かな成長を支えていく仕組みの構築 など

③みんなで子育て世代を支え合う、愛情につつまれたまちづくり

- ・子どもの貧困問題など経済的・精神的負担の軽減
- ・障がいのある子どもなどが、生まれ育った地域で教育が受けられる教育ニーズに応じた指導や支援ができる教育環境の整備 など

●委員会の質疑から

- ・身近な子育て世代の遊び場が不足している。子育て支援、少子化対策に力を入れること。
- ・様々な課の連携が必要である。各課が子どもにやさしいまちづくりをしていくという共通の意識を持ち、進めること。
- ・子育ての大きな責任をもつのは保護者であることへの意識がうすれないように発信しながら施策を推進すること。



産業建設委員会

政策課題 ● 温泉を活かした観光まちづくり

行政視察 ● 三重県鳥羽市

令和2年 2月7日

入湯税収入の使途「鳥羽モデル」

目的税である入湯税の使途や活用のあり方について調査を進める中で、「鳥羽モデル」と呼ばれる三重県鳥羽市の取り組みを視察しました。

鳥羽市は、入湯税収(年間約1.6億円)の配分において、収入額の70%を観光振興基金として積み立て、残りの30%を源泉管理などの補助金として温泉振興会に支出する独自の方式を取っています。

鳥羽モデルは、関係団体との十分な意見調整を踏まえ導入されており、基金によって使途を明確に管理できるといったメリットはありますが、資金が内部留保されていることや補助金による事業と市の事業の重複といった課題もあり、その整理・精査は求められるところです。

本市における入湯税収(年間約2.4億円)は、海外戦略を含む観光振興・観光施設に全額充当されていますが、温泉関係団体より鉱泉源の保護への充当も求められています。

当委員会では、入湯税の活用のあり方や目的税などの財源を活用した持続可能な観光まちづくりについて政策提言できないか、さらに調査研究を深めたいと考えています。



議会閉会中の委員会活動

総合計画に関する特別委員会

高山市第八次総合計画の見直し

総合計画に関する特別委員会は、条例において高山市総合計画における基本計画を議決を必要とする案件として定めていることから、総合計画の見直しに関する調査研究及び審査を行うことを目的として、令和元年6月に設置しました。

以降4回にわたり、見直しの考え方と計画の構成、3つのまちづくりの方向性と15のまちづくり戦略の体系、まち・ひと・しごと創生総合戦略との統合、地域ごとのまちづくりについて、市民との意見交換会等における市民意見を踏まえ、さまざまな論点から議論を行いました。それら4回の特別委員会での協議を踏まえ、3月定例会に議案として提出されました。議案の審査では、第八次総合計画基本計画の変更が、これまでの議論などを踏まえたうえで、生涯学習の位置づけ、まちづくりの基本となる地域の捉え方、市民との情報共有、SDGs(エス・ディー・ジーズ ※)の推進などを論点に審査を行い、第八次総合計画基本計画の変更を全員一致で可決しました。

今後の市政運営では、人口減少や少子高齢化が急速に進展するなか経済環境の変化、財政状況の深刻化をはじめ、さまざまな課題が山積しています。市議会では、こうした課題と真摯に向き合う中で、第八次総合計画が着実に推進されるよう、また、この計画に込められている市民の皆様の思いが実現されるよう、二代表制の一翼を担う議事機関として、この計画の執行を監視、評価する責務と役割を果たしてまいります。

※2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標



第5回 高校生との意見交換会

意見発表の様様

令和2年 2月9日

議会では、これからの社会を担う高校生のフレッシュな考えをお聞かせいただき政策の起点として活用することや議会をもっと身近に感じていただくためのきっかけづくりを目的に、令和2年2月9日(日)に高校生との意見交換会を開催しました。



飛騨高山高校 (岡本キャンパス)



高山西高校



飛騨高山高校 (山田キャンパス)



斐太高校



高山工業高校

学 校 名	発 表 テ ー マ
飛騨高山高校 (岡本キャンパス)	キャッシュレス in 高山
飛騨高山高校 (山田キャンパス)	先進的な農業生産者を目指して! ～農家の卵による3Sシステムの導入に向けた挑戦～
高山工業高校	高山デンバー 文化交流プロジェクト
高山西高校	空き家を身近な存在へ
斐太高校	「マップガチ勢」～世界中の人が食を楽しめる高山へ～

第1部の様子は市ホームページから閲覧できます



高校生との意見交換会

ぎかいだよりの表紙写真を募集しています

市民の皆様にも議会広報紙がより身近なものとなるようぎかいだよりの表紙写真を募集しています。

募集要項は、市議会ホームページでも確認できます。

また、お問合せいただきましたら、事務局より募集要項などを郵送(FAX)させていただきます。応募は、個人に限らず、団体や学校等で撮影いただいたものでも可能です。(詳しくは募集要項を参照ください。)

多くの応募お待ちしております。

◆次号8月1日発行のぎかいだより第40号の表紙写真の募集締切は**7月10日(金)**です。

◆申し込み・問い合わせ

高山市議会事務局

TEL 0577-35-3152

FAX 0577-35-3170

mail gikai@city.takayama.lg.jp



議会中継をリニューアル

令和2年3月定例会から新しいシステムで議会中継(生中継・録画映像)を配信しています。新システムにより、スマートフォンやタブレットPCからも視聴できるようになりました。

また、一般質問もP9～P13のQRコードから直接視聴できます。なお、録画映像は、会議録が調製され次第、配信を終了します。皆さんぜひご覧ください。

※別途通信料が発生します。



ぎかいだよりをスマートフォンアプリ「マチイロ」でご覧いただけます!



マチイロ
自治体広報キュレーションメディア



「マチイロ」アプリを使って、ぎかいだよりをスマートフォンやタブレット端末で読むことができます。アプリの利用は無料です。(別途、通信料が発生します。)

利用方法

「マチイロ」を使用するためには、専用のアプリをダウンロードする必要があります。



- 1 アプリをダウンロードします。
(右上のQRコードからダウンロード画面へ移動可)
 - ・iOS(iPhone等)の場合
App Storeで「マチイロ」を検索し、ダウンロード
 - ・Android端末の場合
Google Playで「マチイロ」を検索し、ダウンロード
- 2 アプリを起動し、必要事項を入力します。
- 3 「利用開始」をタップすると登録完了です。
- 4 「広報紙の追加」を選択し、高山市を検索してください。

マチイロ内の広告について

「マチイロ」はアプリ内に広告が表示されます。この広告はアプリ運営のためのもので、高山市とは関係ありませんのでご了承ください。

令和2年 高山市議会 6月定例会日程

開会日	曜日	会議内容	場所
1	月	本会議 (提案説明、質疑、委員会付託)	議場
4	木	一般質問通告締切	
5	金	常任委員会 (議案の付託された委員会)	各委員会室
9	火	本会議 (一般質問)	議場
10	水	本会議 (一般質問)	議場
11	木	本会議 (一般質問)	議場
		本会議終了後 議会運営委員会	全員協議会室
15	月	総務環境委員会	全員協議会室
16	火	福祉文教委員会	全員協議会室
17	水	産業建設委員会	全員協議会室
18	木	予算決算特別委員会	全員協議会室
19	金	本会議	議場

このマークが付いている日はインターネット・ケーブルテレビで議会中継されます。

編集後記

令和2年度の予算を審議して議決いたしました。しかし、今回はこれまでにない予算決算特別委員会でした。予算編成時と予算審議時のわずかな期間に、新型コロナウイルス感染症による市内経済、人やモノの動きが急速に停滞する事態が発生しました。この感染症の終息までには相当の時間を要すると思われます。予算では前もって算出した税金の使途を定めましたが、前提として今後の市民所得が順調に確保されなければ、納税にも影響を及ぼしかねません。こうした状況下での様々な行政サービスと市民支援に対して、議会の執行監視機能を果たす中で柔軟な適応・対応力が求められていると考えています。

